

山形県 自家用自動車

薄暮時間帯における交通事故防止 10月・12月にかけて死亡事故が多発!

薄暮時間帯(日没時刻の前後1時間)は、例年、交通事故が多く発生しています。この時間帯は、周囲の視界が徐々に悪くなり、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、相手の距離や速度がわかりにくくなるためです。

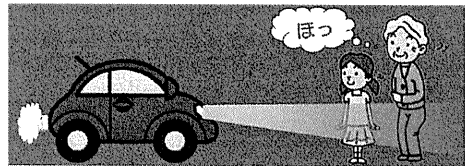
警察庁は、令和元年から令和5年の5年間に於ける交通事故の発生状況から、10月から12月にかけての交通事故の特徴を次のとおり分析しています。

前照灯の早め点灯

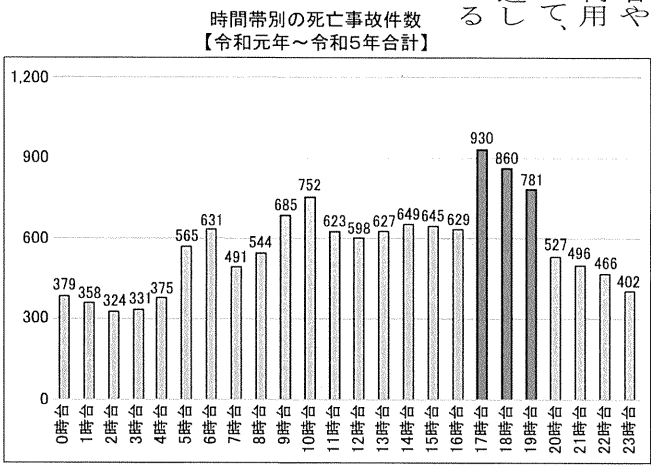
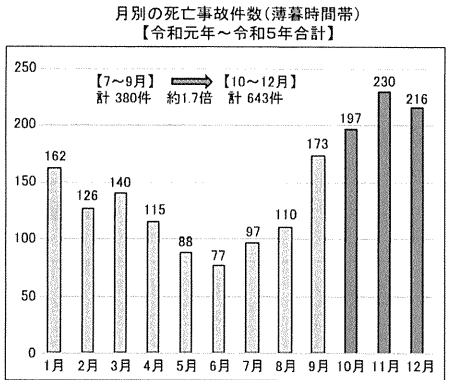
運転者の中には、周囲が見えづらくなっても前照灯を点灯せず、前方が見えなくなるとはじめて点灯するケースが見られます。しかし、その段階では、他の車や歩行者が自分の車の存在を認識するのが遅れたり、気付かずに行動するなどして、交通事故につながるおそれがあります。

反射材・ライトの活用

歩行者や自転車利用者は、薄暮時間帯や夜間に交通事故に遭わないようにするため、反射材やライトを活用することが効果的です。



薄暮時間帯の死亡事故は7月以降増加傾向に転じ、特に10月から12月にかけて最も多く発生(7月から9月と比較し約1.7倍の増加)。



令和6年度 高齢者の交通事故防止推進強化旬間

山形県

- ◆ 実施期間: 11月1日(金) ~ 11月10日(日)
- ◆ 運動の重点: 夕暮れ時以降の交通事故防止
- ◆ 交通事故防止のための具体的な行動

【運転者】

- 早めのヘッドライト点灯とこまめな切り替えによるハイビームの積極的活用
- 横断歩道では、歩行者を最優先に安全に横断させるなど、交通ルールの遵守
- 悪質・危険な飲酒運転の撲滅

【歩行者】

- 道路横断時は、手や旗でしっかり意思表示し、横断開始時と横断中の2度確認を徹底
- 夕暮れ時からの外出は、目立つ明るい色の衣服と夜光反射材の着用

【自転車利用者】

- 夕暮れ時からの早めライト点灯及び夜光反射材の活用とヘルメットの着用
- 飲酒運転の禁止、一時停止場所では必ず停止するなど、交通ルールの遵守



地域全体で高齢者を見守り、高齢者の交通事故防止を推進しましょう

10月から車検項目に OBD検査が追加されました!

国土交通省

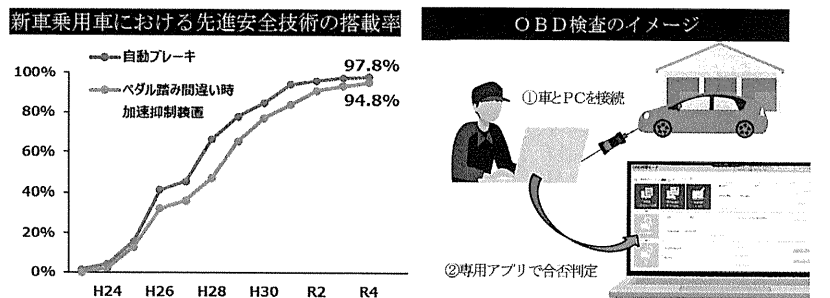
令和6年10月1日から、自動ブレーキ等の先進安全技術の機能維持を図るため、車検の新たな検査項目として「電子装置の検査(OBD検査)」が追加されました。

近年、自動ブレーキ等の先進安全技術は、交通事故の防止に大きな効果が期待される一方、正しく作動するためには定期的な検査が不可欠となります。OBD検査の追加により、先進安全技術の故障による不作為動作を防止します。

OBD検査のポイント
令和3年10月(輸入車は令和4年10月)以降の新型車のみが義務の対象となります。
専用の機器(検査用スキャンツール)を車両のコンピュータ(ECU)に

接続して行います。運転支援装置(自動ブレーキ等)、自動運行装置、排出ガス抑制装置が対象です。
検査の結果、故障が確認された場合は、修理しなければ、車検に合格しません。

詳しくは下記関連リンクをご確認ください。
・国土交通省 https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_OBD.html
・(独)自動車技術総合機構 <https://www.obd.naltec.go.jp/>



マイカー点検フェスティバル 2024開催のお知らせ

県自動車適正管理推進協議会

「マイカー点検フェスティバル2024」が10月19日(土)、20日(日)の2日間、山形市平久保の国際交流プラザ(山形ビッグウイング)で開催されます。

国土交通省が推進する「自動車点検整備推進運動」の一環として、山形県主催の「やまがた環境展2024」と同時開催するもので、山形県自動車適正管理推進協議会が中心に取り組みます。

このフェスティバルは、一般ユーザーにマイカーの点検・整備の必要性等

- 主なイベント内容は次のとおりです。
- マイカー無料点検
- スタンプラリー
- マイカー相談
- エコカーのペーパークラフト作成体験
- 子供免許証の発行
- 自動車の新旧部品の展示
- 図柄ナンバー展示

チャイルドシート使用状況調査を実施！ 使用率78.2%、取付けに課題も

警察庁・一般社団法人日本自動車連盟

警察庁と一般社団法人日本自動車連盟(JAE)は、今年5月から6月にかけて6歳未満に義務付けられているチャイルドシートの使用状況について全国調査を実施し、その結果を公表しました。

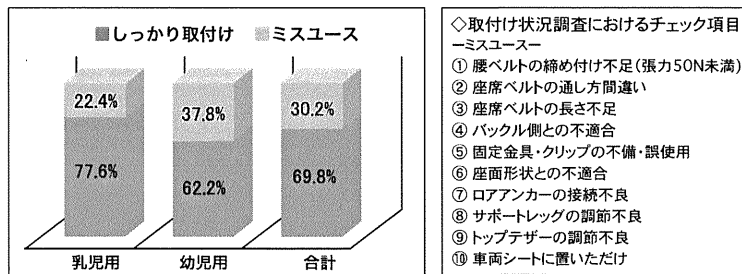
その結果、使用率は昨年からの2.2ポイント増の78.2%と過去最高を記録しました。一方で、取付け方法に課題があるケースが約3割あり、適正な使用を呼び掛けています。

使用状況調査は、全国99箇所、6歳未満の乳幼児13,035人を対象に実施しました。本県は89.2%と全国平均を11.0ポイント上回り、東北で1番目、全国では4番目に使用率が高い結果となりました。

取付け状況調査では、全国8地域、16箇所、431シートを調査しました。取付けに問題ありが、乳児用・幼児用シート全体で30.2%となっており、中でも「腰ベルトの締め付け不足」が乳児用・幼児用ともに一番多いミスユースとなっていました。

取付け状況調査では、乳児用・幼児用シート全体の30.2%となっており、中でも「腰ベルトの締め付け不足」が乳児用・幼児用ともに一番多いミスユースとなっていました。

取付け状況調査結果	乳児用	幼児用	合計
しっかり取付け	166 (77.6%)	135 (62.2%)	301 (69.8%)
ミスユース	48 (22.4%)	82 (37.8%)	130 (30.2%)
合計	214	217	431



シートベルトでしっかりと取付けましょう。

自動車のヘッドライトオートレベリング装備を拡大！

保安基準の細目を定める告示等の一部改正

国土交通省

ヘッドライトのオートレベリング機能とは、乗員の増減や荷物の有無等により車両の前後傾斜が変化した場合に自動でヘッドライトの照射範囲(上下方向)を調整する装置のことです。現在、HID(高輝度放電ランプ)やLED(ヘッドライト)には、この機能が義務付けられていますが、依然としてヘッドライトの眩しさに事故が起ったケースが後を絶ちません。このような事故を防止するため、オートレベリング

の装備拡大が国際的に議論されてきましたが、今回、国土交通省は、世界フオーラム(WP.29)において、このオートレベリングに関する基準改正が合意されたことを踏まえ、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の改正を行います。

※詳細は国土交通省HPでご確認ください。

◇主な改正の概要

オートレベリングの装備対象現在光源が2,000lm超の高輝度の前照灯を有する自動車

改正光源の輝度に関係なくレベリング装備を必要とする全ての自動車

◇適用日

(1) 乗車定員10人以下の乗用車等

令和9年9月1日

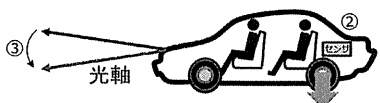
【新製車】

令和12年9月1日

【継続生産車】

令和10年9月1日

【オートレベリングの作動イメージ】



- 乗員や荷物の重さにより、車両後部が下がる
- 車両に搭載したセンサにより車両の傾きを検知
- 上を向いた光軸を適切な角度へ自動的に補正

【継続生産車】

令和13年9月1日

公布施行

公布:令和6年(2024年)9月20日

施行:令和6年(2024年)9月22日

車の安全管理と交通事故防止！ 「マイカー点検研修会」を開催

長井地区交通安全協会

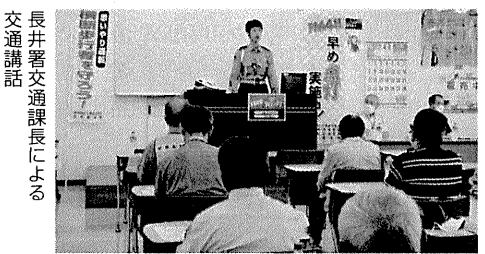
長井地区交通安全協会(小松要一会長)は、9月28日、マツキドライビングスクール長井校で、同協会女性部、高齢者部合同の「マイカー点検研修会」を開催し、同協会の会員35名が参加しました。

同協会の小松会長、マツキドライビングスクール長井校の住吉管理者の挨拶の後、座学研修と実車研修が行われました。

座学研修では、交通講話として、長井警察署の齊藤交通課長から、管内の交通事故情勢についての説明があり、山形県自動車整備振興会の迎田指導員からは道路運送車両法に基づき使用者に義務付けられている日常点検整備や水没車両からの脱出方法等について説明がありました。

実車安全運転講習は、マツキドライビングスクール長井校のコースを使用し、実際に車を運転し、同スクールの担当者から安全運転へのアドバイスを受けました。

実車点検は、山形県自動車整備振興会会長井西置賜支部の担当者から、実車を使用して、ブレーキ液やエンジンオイルの点検、各灯火類の点検、タイヤの空気圧と摩耗の点検要領などについて説明を受けました。参加者は日常点検の必要性について理解するとともに、異常を発見した際の対応について確認しました。



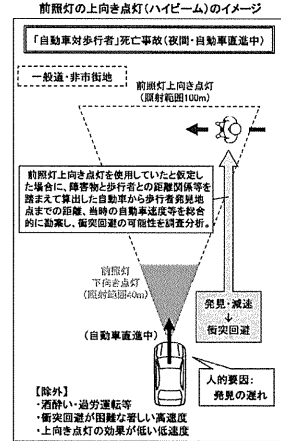
長井署交通課長による交通安全講話

警察庁は、ハイビームによる衝突回避の可能性を調査・分析しその結果を公表しています。

平成28年の統計資料から、夜間、自動車直進中(カーブを含み右左折時等は含まない)に歩行者に衝突したハイビームを使用していない死亡事故のうち、一般道で非市街地、要因が運転者の発見の遅れ、衝突を回避できない高速度以外などの一定の条件下で発生した25件のうち、ハイビームにより衝突回避できた可能性の高い事故が126件(56%)あったとしています。

ハイビームを使用していたと仮定した場合における、自動車から歩行者発見地点までの距離や当時の自動車速度などを総合的に勘案した結果として、

夜間、街灯が少ない暗い道路を走行する時は、ハイビームにすることで歩行者などを遠くから発見することができ、早期の事故回避措置が可能となります。ただし、対向車と行き違ふときや、ほかの車の直後を走行しているときはロービームに切り替えましょう。



8月の県内新車新規登録・届出数 ☆8月総合計3.1%減(2ヶ月ぶり減少)

東北運輸局

山形県の8月における新車新規登録・届出数は、総合計3,465台で前年同月比3.1%減と2ヶ月ぶりの減少となりました。

○登録自動車は合計で9.8%の減と3ヶ月連続の減少、乗用車全体で12.7%減と2ヶ月ぶりの減少となりました。うち普通車が14.3%の減少、小型車は10.6%の減少となっています。

○軽自動車は7.4%増と

別表 8月新車新規登録・届出数

登録自動車	乗用	普通	6年8月	前年同月	増減	率
			小型	859	1,002	▲143
		計	700	783	▲83	▲10.6
		計	1,559	1,785	▲226	▲12.7
		貨物	267	236	▲31	▲13.1
		その他	48	57	▲9	▲15.8
		計	1,874	2,078	▲204	▲9.8
		軽自動車	1,565	1,457	▲108	▲7.4
		小型二輪車	26	42	▲16	▲38.1
		総合計	3,465	3,577	▲112	▲3.1

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。

注2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値